

# 一般質問通告者一覧表

令和7年第1回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間	
		項目	細目	詳細			
1	谷 晴美	1	子育て世帯・高齢者への支援について	(1) 子育て支援の充実について これまで取り上げている、学校給食費の無償化は就学援助の一つでもある。憲法に定められているとおり、「義務教育は、これを無償とする」ことを確実に実施するべきである。	市副教 市長 担当部 市育 局長 長	3 5 分	
				ア			本市の就学援助制度の現状と課題について伺う。
				イ			全国の自治体では給食費の無償化が広がっている。特に、東京都では、都が自治体に対し、保護者負担軽減のため、給食費に係る費用の半額補助を行い、都内全ての自治体において給食費が無料となっている。これらの動きに対する本市の対応と方針について伺う。
				(2) 補聴器補助制度の創設について 「補聴器補助制度」の創設を求める声は大きい。特に介護予防の観点から重要な課題の一つと考えている。			
				ア			これまで本市が受けた相談内容とその対応状況について伺う。
				イ			本市における補聴器のニーズ調査について、実施されたことがあるのか、伺う。
		2	命の水を守ることにについて	(1) 自治で守る水の重要性について この1年余りで有機フッ素化合物が河川、水道、地下水、ペットボトルの飲料水から検出され、全国で問題になってきている。本年1月29日、公費での「PFAS」の血中濃度検査を求める署名が、本市に提出されている。本市も市民に寄り添う対応が必要である。			
				ア			川上弾薬庫の周りにおいて、高い濃度の「PFAS」が検出されているが、水道の宅地内敷設に対して、住民負担が発生しないよう財源を確保するべき。本市の考えを伺う。
				イ			岡山県吉備中央町では公費で血中濃度検査が実施されている。東広島市八本松町の米軍川上弾薬庫周辺の地下水からは日本一高い濃度の「PFAS」が検出されている。住民の願いを受け止める必要がある。公費での「PFAS」の血中濃度検査の必要性について、本市の考えを伺う。
				ウ			水質汚濁防止法に基づく検査対象に「PFAS」を入れるべき。本市の考えを伺う。
				エ			土壌やため池など、調査対象を広げるよう各地で声が上がってきている。財源を確保して住民の安心安全のために対応するべき。調査対象の拡大について、本市の考えを伺う。
				(2) 水源保全条例の制定について 水源保全条例の必要性が今ほど大事な時はない。三原市では、水源保全条例を制定し、昨年10月1日から施行した。この条例により、水質の保全に関する重要事項について意見を聴くための4人で組織する専門家委員会が発足している。また、独自の水質検査を行い、基準を超えれば立ち入り検査を行うことができるが、他市に見習い、本市においても条例を制定するべきと考える。			
				ア			条例制定に向けたこれまでの検討状況と今後の方針についての本市の考えを伺う。

# 一般質問通告者一覧表

令和7年第1回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間
		項目	細目	詳細		
1	谷 晴美	3		公設の産業団地の造成より、今不足している人材の雇用に財源を回すことの重要性について	市副教 担 当 部 局 長  市 育 長 長 長 長	35分
			(1)	大規模な事業より、人材難の中、直接人件費に反映される施策の重要性について 多くの業種で人材不足が生じている。このことへの対応として、本市の取組みについて、まだまだ財源を確保する必要があると考える。そのためには、計画されている事業の見直しが必要である。		
			ア	本市の2つの公的産業団地造成計画の費用対効果について伺う。		
			イ	不足している介護、医療、教職員、福祉職員などの人材確保策の現状と課題について伺う。		
			ウ	人材確保の施策はまったなし。大規模な事業を凍結して予算を確保するべきである。本市の考えを伺う。		